

帯広圏総合都市交通体系調査

2022年

帯広圏では、前回調査から約15年が経過し、道東自動車道の「夕張～十勝清水間」が開通した他、人口減少や高齢化の進行など都市交通を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。今後の都市交通計画の検討を進めるためにパーソントリップ調査に取り組んでいます。

調査主体 北海道

調査対象圏域

平成17年調査時と同様に、帯広市、音更町、芽室町、幕別町（忠類地区除く）の1市3町を対象としています。

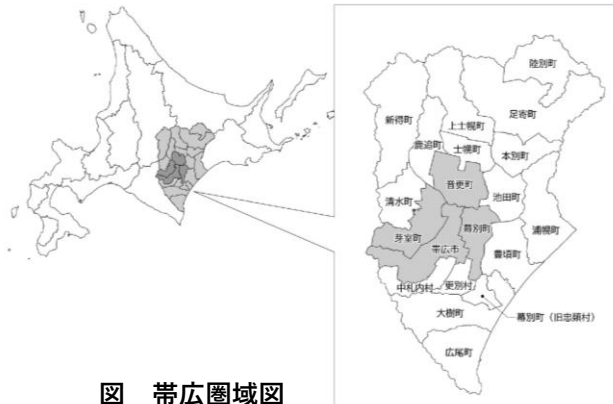


図 帯広圏域図

出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

調査圏域人口 241,967人（5歳以上 住民基本台帳（令和4年7月末））

調査手法

住民基本台帳から無作為で抽出された世帯に対して、満5歳以上の構成員全員を対象に、郵送＋WEB併用で調査を依頼し、実施しています。

表 調査手法

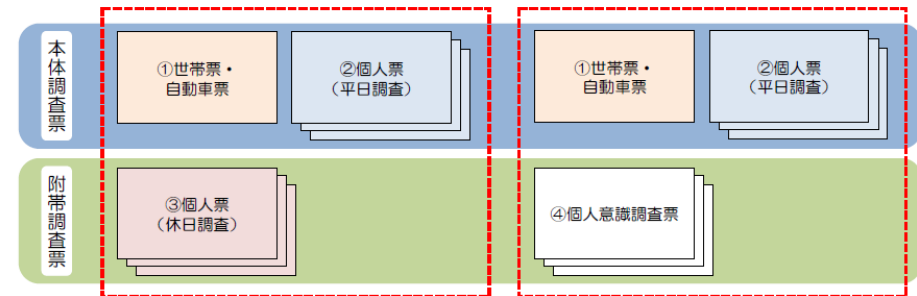
調査方法	郵送＋WEB併用方法
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
サンプル数	ゾーン別・目的別・交通手段別発生交通量の精度を確保する精度（相対誤差20%）とする（交通手段については自動車、徒歩・二輪車の精度確保を主眼とする）。
ゾーニング	道路交通センサスのゾーンを踏まえ、都市圏における計画課題に応じて細分化する。
調査対象者	調査対象世帯の満5歳以上の世帯構成員全員
調査指定日	10月上旬～12月中旬の平日、休日において実施（祝日の前後の日除く）
調査内容	本体調査：世帯票、自動車票、個人票（平日） 附帯調査：個人票（休日）または個人意識調査票 ⇒個人票（休日）と個人意識調査票は、本体調査対象者の50%ずつを対象
調査体制	帯広圏パーソントリップ調査実施本部を札幌市内に設置し調査実施

出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

調査体系

本体調査では、都市圏居住者の1日の交通実態について把握しますが、帯広圏における多様な生活環境や交通実態を踏まえた交通計画を検討する上で、本体調査結果の分析だけでは、通院・買い物等の詳細な実態について把握できないため、「休日交通実態調査」と「個人意識調査」の2種類を附帯調査を実施しています。

各調査の配布世帯の設定については、回収率低下を招かないよう対象者への負担を軽減するために、附帯調査の「休日交通実態調査」と「個人意識調査」はどちらかの調査のみ回答してもらうこととしています。

本体調査＋休日調査の場合
（①＋②＋③の調査票）本体調査＋個人意識調査の場合
（①＋②＋④の調査票）

出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

本体調査

本調査は、交通手段分担を考慮した総合交通計画を策定することを目的としており、交通手段別OD表を取得できるように郵送調査を実施しています。

○特徴

- ・世帯票にて、世帯主との続柄、自由に使える自動車の有無に関する設問を設定
- ・自動車票にて、“所有者”、“保管場所”などに関する設問を設定
- ・個人票にて、“定期券利用の有無・公共交通利用時支払額”や“駐車場・駐車料金”に関する設問を設定

帯広圏総合都市交通体系調査

2022年

付帯調査

①休日交通実態調査

○概要

平日に対して休日の目的および手段構成の変化や分布状況の変化の分析を行い、平日と異なる特性を持つ買い物等の私用交通に着目した分析に特化するため、サンプル調査（人口拡大およびトリップ補正を実施しない）を実施しています。（調査内容平日と同じ）

②個人意識調査

○概要

個人意識調査ではパーソントリップ調査では把握しきれない、通院・買い物の実態や公共交通の利便性を把握し、帯広圏の1市3町における日常生活行動や危険箇所、公共交通に対するニーズや課題を抽出するために実施しています。

○調査内容

- ・公共交通の利用について
- ・買物の状況について
- ・通院の状況について
- ・通勤・通学の状況について
- ・私用の状況について

補完調査

①スクリーンライン調査

本体調査から得られる自動車交通量の精度検証および補正の必要性の検討に向けて、スクリーンライン上での自動車交通量のカウント調査を実施しています。

②コードンライン調査

本体調査から得られる自動車交通量の精度検証に向けて、調査対象圏域境界において、圏域内外交通量を把握するために自動車交通量をカウントし、調査対象圏域外居住者の流入入交通量を把握しています。

抽出率設定の考え方

抽出率の設定は、平日と休日で目的のカテゴリー数を変更し、設定しています。

○カテゴリー数の設定

- 平日：50 ゾーン（Cゾーン）×4 目的（通勤・通学、私用、業務、帰宅）
×2 交通手段（自動車、その他）= 400
- 休日：50 ゾーン（Cゾーン）×2 目的（私用、その他）
×2 交通手段（自動車、その他）= 200

○抽出率

- 平日：5.64%
- 休日：2.89%

調査スケジュール

調査票の発送は複数回（5ロット）に分けて実施し、原則として調査日の1～4日前に調査対象世帯に到着するよう発送しています。
また、回収率向上のため抽選で1,000名にQUOカード500円分を配布しています。

表 調査票の発送日と回収期限

	発送日	回収期限
第1ロット	令和4年9月30日（金）	令和4年10月28日（金）
第2ロット	令和4年10月7日（金）	令和4年11月4日（金）
第3ロット	令和4年10月14日（金）	令和4年11月11日（金）
第4ロット	令和4年11月18日（金）	令和4年12月13日（火）
第5ロット	令和4年12月6日（火）	令和4年12月23日（金）

出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

回収率

調査実施により、全ての市町にて、目標回収世帯数を上回る達成率となっています。

表 回収率

平日 ※住民基本台帳7月時点

市町名	人口	5歳以上人口	世帯数	目標回収世帯数 (5.64%)	配布世帯数	回収世帯数			回収率			目標達成率
						郵送	Web	合計	郵送	Web	合計	
帯広市	164,480	158,995	90,112	5,090	24,256	3,565	1,588	5,153	14.7%	6.5%	21.2%	101.2%
音更町	43,207	41,824	20,613	1,170	5,539	902	357	1,259	16.3%	6.4%	22.7%	107.6%
芽室町	18,091	17,500	8,021	460	1,957	379	176	555	19.4%	9.0%	28.4%	120.7%
幕別町	24,597	23,648	11,871	670	3,262	568	222	790	17.4%	6.8%	24.2%	117.9%
合計	250,375	241,967	130,617	7,390	35,014	5,414	2,343	7,757	15.5%	6.7%	22.2%	105.0%

休日 ※住民基本台帳7月時点

市町名	人口	5歳以上人口	世帯数	目標回収世帯数 (2.89%)	配布世帯数	回収世帯数			回収率			目標達成率
						郵送	Web	合計	郵送	Web	合計	
帯広市	164,480	158,995	90,112	2,610	12,122	1,775	857	2,632	14.6%	7.1%	21.7%	100.8%
音更町	43,207	41,824	20,613	600	2,763	429	198	627	15.5%	7.2%	22.7%	104.5%
芽室町	18,091	17,500	8,021	240	979	188	82	270	19.2%	8.4%	27.6%	112.5%
幕別町	24,597	23,648	11,871	350	1,619	276	112	388	17.0%	6.9%	24.0%	110.9%
合計	250,375	241,967	130,617	3,800	17,483	2,668	1,249	3,917	15.3%	7.1%	22.4%	103.1%

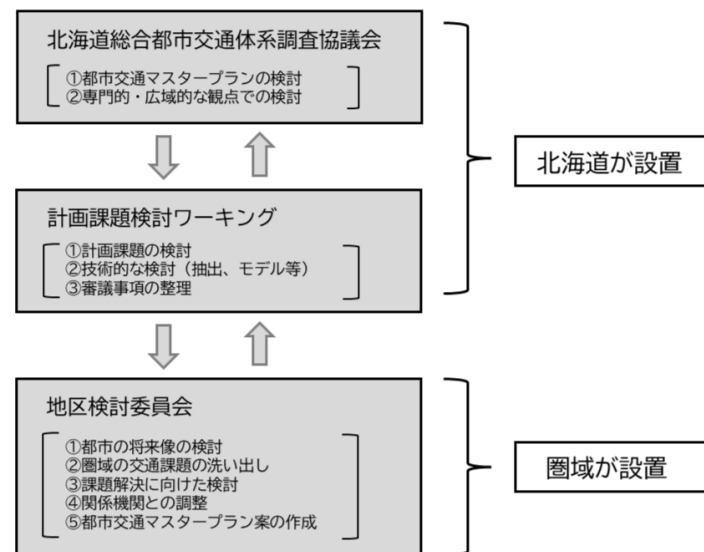
出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

検討体制

検討にあたっては、協議会、ワーキング、地区検討委員会、事務局会議の4つを設置し、取り組んでいます。

表 検討体制

組織	メンバー構成
北海道総合都市交通体系調査協議会	学識経験者、北海道開発局、北海道運輸局、東日本高速道路（株）、北海道旅客鉄道（株）、（一社）北海道バス協会、北海道、帯広市、音更町、芽室町、幕別町
計画課題検討ワーキング	学識経験者、北海道開発局、北海道、帯広市、音更町、芽室町、幕別町
地区検討委員会	学識経験者、帯広開発建設部、北海道運輸局、北海道十勝総合振興局、北海道釧路方面帯広警察署、東日本高速道路（株）、北海道支社帯広管理事務所、帯広商工会議所、北海道旅客鉄道（株）、十勝地区バス協会、十勝地区ハイヤー協会、十勝地区トラック協会、北海道、帯広市、音更町、芽室町、幕別町
事務局	北海道、帯広市、音更町、芽室町、幕別町



出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

広報の取組

本調査においてはその意義・目的に対する住民の幅広い理解と調査対象者の一層の協力が、調査を円滑に行い、かつ精度の向上を図る上で必要となることから、実態調査に向けて以下の広報活動を行っています。

- ① 各市町の広報誌による広報活動
- ② ポスターによる広報活動
- ③ 特設ホームページによる広報活動
- ④ 各市町のホームページ上への掲載
- ⑤ SNS による広報
- ⑥ 十勝毎日新聞への掲載
(電子版：R4.10.12（水） 新聞紙面：R4.10.23（日）)



ポスター



広報誌の掲載状況
(帯広市)



広報誌の掲載状況
(音更町)



広報誌の掲載状況
(芽室町)



広報誌の掲載状況
(幕別町)



出典：令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

各種調査物件

あいさつ状、記入要領・記入例、返信用封筒、督促状

帯広圏（帯広市・音更町・芽室町・幕別町）

パーソントリップ調査

住所・宛名

帯広圏パーソントリップ調査へのご協力のお願い

日頃から、道政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
このたび、北海道では、帯広市、音更町、芽室町、幕別町とともに、パーソントリップ調査（交通実態調査）を実施いたします。
この調査は、将来の総合的な交通計画や身近なまちづくりの検討を進めるため、住民の皆様の日常的な移動状況を把握するものです。前回調査（平成17年度）から17年が経過し、人口減少や少子高齢化の進行に加え、十勝地域では道東自動車道「夕張〜十勝清水間」が開通するなど、交通を取り巻く環境が大きく変化したことから、改めて調査を実施することといたしました。
ご多忙の折大変恐縮でございますが、何卒調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

北海道知事 鈴木 直道

個人情報の取り扱いについて

この調査は北海道個人情報保護条例に基づく届け出を行う調査であり、この調査にかかわる個人情報については、当該条例に基づき適切に取り扱い、調査の目的以外には利用いたしません。

この封筒に入っているもの

① 挨拶状（このチラシ）

② 世帯票・自動車票

③ 平日個人票

④ 休日個人票

⑤ 個人票記入例

⑥ 記入要領

⑦ 返信用封筒

ご回答をお願いするもの

●世帯票・自動車票・・・世帯で1枚

・5歳以上（令和4年10月1日現在）の方のみを対象として記入してください。

●個人票【平日・休日】・・・5歳以上の方全員

・世帯票にご記入のうち、5歳以上の方1人につき1枚ずつ記入してください。

・記入例を参考に、下記の調査日（午前3時〜翌日午前3時）の移動についてご回答ください。

調査日

※調査日に外出されていない方も対象です

平日 令和4年●月●日（水曜日） 休日 令和4年●月●日（日曜日）

回答期限

令和4年●月●日（●曜日）

回答方法は「郵送による回答」と「インターネットによる回答」の2種類ございます。詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ先

帯広圏パーソントリップ調査（交通実態調査）実施本部

（調査受託者：）

【住所】

【電話番号】（フリーダイヤル）

【受付時間】午前9時〜午後6時（土曜・祝日を除く）

【実施機関】北海道 帯広市 音更町 芽室町 幕別町

回答方法（郵送またはインターネット）

同封の記入例をお読みいただき、「郵送による回答」と「インターネットによる回答」の2つの回答方法から、どちらかを選択してご回答ください。
「インターネットによる回答」は、スマートフォンでも回答が可能で、移動先の住所を回答する際、画面上の地図を使って住所を選択でき、郵送の手間も省くことができます。

●郵送による回答

- 調査票に黒い筆記用具で直接ご記入ください。
- 個人票には訪問場所を6か所まで記入できますが、7か所以上の訪問場所がある場合は、下に記載されているお問合せ先までご連絡ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。

●インターネットによる回答

①ホームページへアクセス

北海道の「帯広圏パーソントリップ」のページから、リンク先をクリックしてください。
もしくは、右記の二次元バーコードでもアクセスできます。

帯広圏パーソントリップ調査ホームページ

二次元バーコード

②ログイン

下記の「整理番号」と「パスワード」を入力し
ログインしてください。

整理番号123456789

パスワードabcdefg

③ログイン後、画面の案内に沿って回答

WEB調査票画面

調査協力のお礼

帯広圏パーソントリップ調査にご協力いただいた方のうち、ご応募いただいた方の中から抽選で1,000名様に、500円のプリペイドカード（商品券）をプレゼントいたします。
インターネットで回答する場合は、調査終了後に表示される「調査協力のお礼」応募フォームに必要事項をご記入ください。
調査票で回答する場合は、下記の応募用紙に必要事項をご記入の上、切り取り線より下の部分を調査票と一緒に返信用封筒に同封しご返送ください。

【注意事項】

- 応募用紙に記入漏れ等の不備があった場合、応募を無効にさせていただきます。
- 当選者の発表は、景品の発送をもってかえさせていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は当選景品をお届けするためだけに利用し、その他の目的では一切利用いたしません。

応募用紙

フリガナ
お名前

ご住所

あいさつ状

出典令和4年度 帯広圏総合都市交通体系調査 報告書

あいさつ状、記入要領・記入例、返信用封筒、督促状

**注意
事項** 調査票に記入する行動は
指定日の午前3時～翌日午前3時までです。

ある世帯主の移動例と記入例

○一日のはじめ【午前3時】 自宅にいた

 自宅

●

1 1 回目の移動 自宅から勤務先へ行った

● 午前 8:15 出発 午前 8:45 到着
● 目的：通勤

2 回目の移動 勤務先から得意先へ打合

午後1:00 出発 午後1:40 到着
目的：打合せ

[illegible]

● 2回目の移動 得業生から勤業生へ回す

午後 3:16 出発 午後 4:00

● 得意先 手段・徒歩5分・バス30分(同5分)・徒歩30分

午後6:10出発 午後6:40

勤務先 手段：乗用車 30分

記入の仕方がよく分からない時は、【帯広圏パーソナルサポートセンター】までお問い合わせください。

受付時間:午前9時～午後6時(土曜・祝日除く)

[illegible]

記入例

調査票回収用返信封筒

各種調査物件

あいさつ状、記入要領・記入例、返信用封筒、督促状

郵便はがき

料金後納郵便

【お問い合わせ先】

帯広圏パーソントリップ調査（交通実態調査）実施本部

（調査受託者：）

〒

TEL：（フリーダイヤル）

受付時間：午前9時～午後6時（土曜・祝日除く）

【実施機関】

北海道 帯広市 音更町 芽室町 幕別町

督促状

帯広圏パーソントリップ調査
（交通実態調査）ご協力へのお礼

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
このたびは、「帯広圏パーソントリップ調査」にご協力
いただき、誠にありがとうございました。
ご回答いただいた内容は、将来のまちづくりや交通計
画の検討のため、有効に活用させていただきます。
略儀ではございますが、本状をもってお礼とさせてい
たきます。
令和4年秋
北海道知事 鈴木 直道

なお、まだご回答いただいていない方におかれまして
は、お忙しい中、誠に申し訳ありませんが、調査へのご
理解をいただきまして、是非ご協力くださいますよう、
重ねてお願い申し上げます。（「調査のご説明」に記載さ
れた調査日と同じ曜日であれば、今週の行動をご回答い
ただいても構いません。個人票には、変更した調査日を
ご回答ください。）

回答方法

インターネットによる回答をご希望の方は、帯広圏パーソント
リップ調査ホームページをご覧ください。
紙による回答をご希望の方は、過日送付した調査票にご回答い
ただき、同封した返信用封筒にてご返送ください。なお、調査票
をお持ちでない方は、おもて面に記載のお問い合わせ先までご連
絡ください。

帯広圏パーソントリップ調査ホームページ